

平成28年度 指定管理者施設管理評価シート

部 教育委員会事務局 課 児童保育課（放課後対策担当）

施設名称		〔42〕 東京都台東区立今戸児童館				
指定管理者の名称		社会福祉法人台東区社会福祉事業団		指定期間	H27.4.1 ~ H32.3.31	
1. 指定管理者の概要						
(1)業務内容	台東区の児童及び高齢者福祉の充実による区民福祉の向上を図るため、児童館や高齢者福祉施設の管理・運営を行なう。					
(2)類似施設の管理実績	児童館 8 館、16 こどもクラブ					
(3)経営状況	〔27年度決算ベース〕〔社会福祉事業会計〕 収入2,816,804,521円、支出2,832,987,406円、収支差額-16,182,885円					
2. 施設の概要						
(1)所在地	台東区今戸 1 - 3 - 6					
(2)設置目的	児童に健全な遊びを与えて、その健康を増進し、情操を豊かにすることを目的とする。					
(3)利用者	区内在住の幼児から中学校終了までを主たる対象とする。					
(4)開館日・時間	月曜日から土曜日：午前9時30分～午後6時、日曜日（第二日曜日を除く）：午前9時30分～午後6時一部開放。 休館日 年末年始、祝祭日（5月5日は開放）					
(5)規模	RC3階建 事務室・遊戯室・工作室・図書室・音楽室・事務所等・今戸こどもクラブ併設					
(6)人員体制	常勤職員2名、短時間職員4名、アルバイト等3名					
3. 事業（サービス提供）の概要						
(1)委託事業	児童の福祉を目的とする事業 児童館の利用を通して児童の情操の育成に資する事業 健全な遊びを通して児童の集団的及び個別指導を行なうこと その他、児童館の目的達成のために必要な事業					
(2)自主事業	自主事業は行っていない。					
4. 予算決算の推移						
		23年度	24年度	25年度	26年度	27年度
予算	委託料	37,736,000	38,954,000	38,662,000	38,508,000	43,085,000
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	0	0	0
	管理経費	37,736,000	38,954,000	38,662,000	38,508,000	43,085,000
決算	委託料	38,739,431	38,143,393	38,592,410	38,558,667	38,007,919
	利用料金収入	0	0	0	0	0
	その他収入	0	0	257,751	22,760	17,950
	管理経費	38,739,431	38,143,393	38,850,161	38,581,427	38,025,869
	収支	0	0	0	0	0
5. 施設の稼働状況等（活動指標）						
指標名称		単位	24年度	25年度	26年度	27年度
開館日数		日	334	333	334	331
6. 成果指標						
指標名称		単位	目標値 （29年度）	25年度	26年度	27年度
利用者数		人	28,000	18,599	20,822	32,355

7. 平成27年度評価結果に対する現在までの取組み					
地域人材、資源に目を向け、児童館への理解を得て、活動に取り入れた。 乳幼児活動プログラムを充実させ、乳幼児親子の利用促進に努めた。					
8. 評価項目		3: 協定等の水準を上回っている。 2: 協定等の水準どおりである。 1: おおむね協定等の水準だが課題がある。	0: 協定等の水準を下回っている。 -: 評価対象外項目。		
評価の観点	評価項目				
(1)事業の運営 平均 [2.0]	(a)施設の目的達成 (b)サービス水準 (c)職員配置 (d)職員研修 (e)案内・接遇	[2] [2] [2] [2] [2]	(f)開館時間等の遵守 (g)自主事業の成果 (h)個人情報保護 (i)緊急時対応 (j)警備・防犯体制	[2] [-] [2] [2] [2]	
(2)施設の維持管理 平均 [2.0]	(a)建物保守・設備機器点検 (b)備品の管理 (c)清掃・衛生管理 (d)施設の修繕	[2] [2] [2] [2]	(e)危険箇所等の確認 (f)管理記録の作成・保存 (g)業務委託の事前承認 (h)省エネ・省資源・環境配慮	[2] [2] [2] [2]	
(3)利用者の満足度 平均 [2.2]	(a)利用者・第三者機関の評価 (b)苦情・要望への対応と報告 (c)利用者数等の目標達成	[2] [2] [3]	(d)利用しやすい環境整備 (e)関係団体・地域との関わり	[2] [2]	
(4)収入支出 平均 [2.0]	(a)適正な予算執行 (b)管理経費の効率化	[2] [2]	(c)収支計画の達成 (d)利用料等の徴収・管理	[2] [2]	
9. 評価		S (水準以上) : 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。 A (適正) : 協定等の水準を満たす管理が行われている。 B (一部課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。 C (課題あり) : 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。 D (水準未滿) : 協定等の水準を満たしていない。			
評価の観点	評価	説明			
(1)事業の運営	A	避難生活を想定したサバイバルワーク(防災グッズづくりや災害時対応の学び合い)や防災マップでの安全箇所確認を来館者で行い、災害に対する意識向上を図った。			
(2)施設の維持管理	A	乳児保護者から要望のあったおむつ交換台と授乳スペースを設置し、親子で安心して過ごせる環境を提供した。			
(3)利用者の満足度	S	職員主導の遊びを活発に行い、大幅な利用者増となった。児童館O B、O Gや地域ボランティアの協力もあり、大人の利用者増にもなった。			
(4)収入支出	A	幼児プール後の水の再利用、窓のすだれ、みどりのカーテン、うちの貸し出しなどにより省エネの推進に努めた。			
10. 総合評価		良好 妥当 要努力 要改善 不適			
		妥当	児童館内こどもクラブの開設により大幅な利用者増になった。多人数での活動場所の工夫、ニーズに応えた遊びの提供を的確に行った。		
11. 平成28年度評価結果に対する今後の対応					
<ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児親子の利用推進のため、参加者増に繋がるプログラムを実施していく。 ・学年による来館者数の差が見られるため、学校・学年を超えた集団遊びを実施していく。 ・中高生への学期ごとのリサーチにより、流行に合った図書等の充実を図っていく。 					